

平成 30 年度 大阪星光学院 学校評価

1 めざす学校像

1. 学校教育基本方針

キリスト教の立場から人間と社会をともに考えていくことにより、高い倫理観と確固たる人生観を持った人間の育成をめざす。

2. 学校教育目標

学院生活を通じて特性を養い、知性を磨き、社会性を身につけ、真に気品ある人物を養成することにある。

2 中期的目標

1. 教室を家庭に（家庭的雰囲気の促進）

サレジオ会の支部（「casa」）として、教育機関と同時に親しい雰囲気のあふれた家庭であることを目指す。合宿などを通して、家庭的な雰囲気や、先生と生徒、そして生徒同士の間の信頼関係を培う。心の教育を土台として知的な教育につなげていく。

(1) 出会いを育む

新しい出会いを大切にして、それを深め、より良いものへと育てゆき、大阪星光学院を家庭的雰囲気にあふれた場にしていく。

教職員と生徒の縁、生徒同士の縁、教職員同士の縁などの人間関係を通して、一人一人が人間として成長することを目指す。

(2) 道理に基づく指導を行う

青少年を一人の大人として扱い、一方的で強制的な指導を避ける。過ちを犯した生徒に何が悪かったのかを指摘し、理解、納得してもらい、そして今後の処置や指導に合意してもらうことが重要である。また、できるだけ個人的に注意する。生徒に対する怒りをコントロールし道理に基づいた指導を行うことにより、生徒が先生に対する信頼を高め、指導に素直に従うようにさせる。

(3) チームワークをもつ

先生はいつも生徒の生活全体を見る教育者である。これは全人教育の基本原則である。一人の生徒は、時間によって、また担当者によって分割されるものではなく、あくまでも一つの人格である。そこには先生方の指導理念の一致と、お互いの間の協力、チームワークが必要である。

2. 高校入学試験改革の推進、中学校特別選抜入学試験の実施

来年度（平成 31 年度）以降の高校生募集形態の検討と改革をしていく。

中学校入学試験において、城星学園小学校より特別選抜入学試験によって生徒を募集する。

(1) 募集形態の検討

高校からの入学生の募集をどの程度の規模にするのか検討する。選抜試験の内容、選抜方法等について検討する。

(2) 中学校、高等学校のクラス編成の検討

中学校、高等学校におけるクラス数および各クラス定員を検討する。

(3) 各教科における人員配置の検討

クラス数、クラス定員の変化に伴い担当者数や教科担当者の配置を検討する。

(4) 特別選抜入学試験の実施

城星学園小学校の生徒に対し、特別選抜入学試験を実施する。

3. 高大接続システム改革に伴う検討および新教育課程の内容の検討

2021 年度から実施される「大学入学共通テスト」について、高大接続システム改革会議の内容についての研究会などに参加して情報を収集し、今後のカリキュラムに反映させる。合わせて、新教育課程の内容について情報収集、分析を行う。

(1) 実施時期、テスト内容等の情報収集、新教育課程の内容等の情報収集

(2) 高大接続システム改革の内容を分析、新教育課程の内容の分析

(3) 本校のカリキュラム検討、変更

4. 高等学校進級規程の改訂

進級規程を見直すことにより、より現状に合った教育指導を実現する。また、高等学校の仮進級制度の改訂を行う。

5. 学校内ネットワークの整備および教育機器の改善

学院内のネットワークを整備することにより教職員の仕事の効率アップを図る。

学院内の教育機器の改善、整備を行う。

6. ボストン研修の実施

夏期休暇に高校 2 年生希望者対象に、ボストン研修を実施する。

ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学の研究施設を訪問し、見学および研修を実施する。

3 本年度の取組内容及び自己評価

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|---------------------|--|---|---|---|
| 1 教室を家庭に | <p>(1)アッシステンツァの実現</p> <p>(2)教室等における生徒へのきめ細かい指導</p> <p>(3)特別活動に積極的に関わり、生徒の自主性・実践的に活動する態度を育てる</p> <p>(4)教育活動等における教職員間の連携、協力体制の強化</p> | <p>ア 教室、クラブ、南部学舎、黒姫山荘等においてアッシステンツァを行う。</p> <p>イ 教室において生徒一人一人の状態を把握したクラス運営、授業を行う。</p> <p>ウ 生徒、保護者と個人面談をできるだけ複数回行い、相互理解と問題の早期発見に努め、解決する。</p> <p>エ 「いじめ」のアンケートを実施し、クラス内の「いじめ」を早期に発見し解決する。</p> <p>オ クラブ活動に積極的に参加し、生徒と一緒にいる時間を増やす。</p> <p>カ 体育大会やスクールフェア（文化祭）等で生徒のバックアップを行う。</p> <p>キ 管理職の校内巡回を行い、生徒に声をかける。</p> <p>ク 生徒の質問に出来るだけ答えるような体制を作る。（場所、時間）</p> <p>ケ 放課後の自習室を開放する。</p> <p>コ クラス運営、学校行事等における教職員の相互の連携を強め、協力体制を強化する。</p> | <p>ア 自己診断表における達成度 80%以上。 （平成 29 年度 80%）</p> <p>イ 自己診断表における達成度 100%。 （平成 29 年度 70%）</p> <p>ウ 生徒、保護者との個人面談を年 2 回以上する。 （平成 29 年度 2.1 回）</p> <p>エ 「いじめ」のアンケートを年 1 回以上実施する。（平成 29 年度 1 回）</p> <p>オ 自己診断表における達成度 80%以上。 （平成 28 年度 76%）</p> <p>カ 自己診断表における達成度 70%以上。 （平成 29 年度 72%）</p> <p>キ 校内巡回を週 2 回以上行う。 （平成 29 年度週 2 回）</p> <p>ク 自己診断表における達成度 80%以上。 （平成 29 年度 74%）</p> <p>ケ 自習室利用率 60%以上をめざす。 （平成 29 年度 50%）</p> <p>コ 自己診断表における達成度 80%以上。 （平成 29 年度 66%）</p> | <p>ア 達成度は、80%であった。より一層の啓発を行いたい。（○）</p> <p>イ もっとも大切な課題であるので 100%を求めたが、現実には 75%止まりであった。より一層の努力が必要である。（△）</p> <p>ウ 生徒、保護者ともに個人面談の平均回数は、2.2 回であった。より一層努力したい。（◎）</p> <p>エ 「いじめ」のアンケートを 9 月に 1 回実施し、いじめの発見、対処を行った。来年度は、回数を増やしていきたい。（○）</p> <p>オ クラブ活動だけではなく特別活動全般に教員が積極的に参加し、達成度は 78%にアップした。（○）</p> <p>カ 生徒協議会活動を始め、学校行事全般に積極的に教員が関わり、活性化した。達成度は 74%である。継続してほしい（◎）</p> <p>キ 校内巡回は週 2 回以上は行われた。来年度からは回数を増やしたい。（◎）</p> <p>ク 職員室等で生徒への質問指導は頻繁に行われて、達成度は 76%に上昇した。より一層の努力が必要である。（○）</p> <p>ケ 自習室利用率は 50%程度であったが、利用者は充実した勉強を行っていた。来年度も 60%をめざして実施したい。（△）</p> <p>コ 達成度は 70%であった。より一層の協力を進めていきたい。（△）</p> |
| 2 中学・高校入学試験改革の推進 | <p>(1)高校入学試験を新しい選抜方法で実施</p> <p>(2)募集形態の変更</p> <p>(3)中学校、高等学校のクラス編成、カリキュラムの検討</p> <p>(4)中学校入学試験における城星学園小学校特別選抜入試の実施</p> | <p>ア 選抜試験に小論文（社会・理科）を導入、面接も実施して入学者選抜を行う。</p> <p>イ 募集形態は、専願と併願で約 10 名とした。</p> <p>ウ 高校入学者減少に伴う高校のクラス編成、カリキュラムを検討する。</p> <p>エ 城星学園小学校より特別選抜入学試験によって生徒を募集する。</p> | <p>ア 新しい形式の高校入学試験を実施した。達成度 80%以上 （平成 29 年度 80%）</p> <p>イ 募集形態は、専願と併願で約 10 名募集した。（平成 29 年度 80%）</p> <p>ウ 高校のクラス編成、カリキュラムを検討する。達成度 80%以上。 （平成 29 年度 80%）</p> <p>エ 中学校入学試験で特別選抜試験を実施する。達成度 80%以上 （平成 29 年度 100%）</p> | <p>ア 新しい形式の選抜試験を実施した。2 名受験し合格者は 2 名であった。達成度 80%（○）</p> <p>イ 出願者は 3 名で、専願 1 名併願 1 名が受験した。合格者は、2 名全員であった。達成度 80%（○）</p> <p>ウ クラス編成は、学年全体の人数が 176 名のため、4 クラス体制にした。達成度 80%（◎）</p> <p>エ 城星学園小学校の生徒に対し、特別選抜入学試験を実施した。8 名の生徒が受験し、8 名合格し入学した。達成度 100%（◎）</p> |
| 3 高大接続システムの検討 | <p>(1)高大接続システム改革会議の内容の情報収集</p> <p>(2)高大接続システムの分析</p> <p>(3)新教育課程の内容の情報収集および分析</p> <p>(3)本校のカリキュラムの検討</p> | <p>ア 高大接続システム改革会議関連の研究会に参加し情報を収集するとともに、他校の対応状況も調査、研究する。</p> <p>イ 高大接続システムの内容を分析し、高校として改革必要事項を検討する。</p> <p>ウ 新教育課程の情報を収集し、分析を行い、新しいカリキュラム変更点を検討する。</p> <p>エ 具体的なカリキュラムの研究、変更を行う。</p> | <p>ア 自己診断表における達成度 80%以上 （平成 29 年度 80%）</p> <p>イ 自己診断表における達成度 80%以上 （平成 29 年度 70%）</p> <p>ウ 自己診断表における達成度 80%以上 （平成 29 年度 80%）</p> <p>エ カリキュラムを変更して実施した。達成度 80%以上。 （平成 29 年度 50%）</p> | <p>ア 達成度は 80%。ほぼ判明してきたが、未発表の詳細な部分についても継続して調査、研究していきたい。（○）</p> <p>イ 改革必要事項の洗い出しは出来てきた。大学入学共通テストにおける外部試験の導入等についてほぼ全容が判明した。達成度 80%（○）</p> <p>ウ 新教育課程における課題が多く見つかった。今後さらに研究していきたい。達成度 80%（◎）</p> <p>エ 中学英語科のカリキュラムを変更して実施した。それ以外の教科に対しても継続的に検討していきたい。達成度 80%（◎）</p> |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|----------------|--|--|--|---|
| 4 高校進級規程の改訂 | (1)高校進級規程の検討と改訂 (2)高校仮進級制度の検討と改訂 (3)単位追認方法の検討と改善 | ア 現在の生徒の高校進級状況を把握し、高校進級規程の検討を行い、改訂する。 イ 高校仮進級制度の内容を検討し、生徒に早期単位修得を促せることのできるような制度に改善する。 ウ 単位追認の時期と方法を検討し、改善する。 | ア 高校進級規程の検討と改訂を行う。 達成度 100% イ 高校仮進級制度の内容を検討し、改善を行う 達成度 80%以上 ウ 単位追認方法を検討し改善する。 達成度 100% | ア 去年に引き続き、現状を分析し検討した。その結果、高校進級規程の改訂を行った。達成度 100% (◎) イ 去年に引き続き、仮進級制度の内容を検討した。その結果、仮進級制度を廃止した。達成度 100% (◎) ウ 去年に引き続き、内容の検討を行った。単位の追認方法は新しいルールが完成し、改善された。 達成度 100% (◎) |
| 5 学内環境の整備 | (1)プロジェクターの導入 (2)電子黒板を特別教室に設置 | ア 授業用のプロジェクターを複数台導入し、授業に活用する。 イ 電子黒板を特別教室に導入し、授業に活用する。 | ア 授業用プロジェクターを複数台導入し活用。 達成度 100% (新規) イ 電子黒板を特別教室に導入し活用。 達成度 100% (新規) | ア 授業用プロジェクターを複数台導入し、授業に活用した。 達成度 100%。(◎) イ 電子黒板を特別教室に導入し、授業に活用した。満足度 100%。(◎) |
| 6 ポストン研修 | ポストン研修を実施する | 夏期休暇中、高校2年生の希望者を対象にポストンに研修を実施する。ハーバード大学とマサチューセッツ工科大学の研究室を訪問し、研修を実施する。 | ポストン研修が計画通り実施された。 達成度 100% (新規) | 夏期休暇中に、高校2年生10名、高校3年生3名の計13名でポストン研修を実施した。 計5回の事前研修を含め、実り多い研修が実施できたと考えている。 達成度、満足度 100% (◎) |

4 学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見

| 学校教育自己診断の結果と分析 | 学校協議会からの意見 |
|---|--|
| <p>【教育課程・学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> サレジオ会の教育基本理念であるアッシステンツァの考え方に基き教室や合宿施設等で、今年度重点目標はほぼ実現されたと考えている。教員の協力体制においては、自己診断表で平成29年度の68%から76%に増加した。連絡調整会議を分掌間で細目に関くなどして、より一層の連携をしていかななくてはならない。 教科において、研究授業等の授業研究の達成度は74%であった。生徒が向上できるように工夫した授業が展開できるようにより一層努力しなければいけない。 高校募集の問題は、専願合格者1名、併願合格者1名計2名、入学者は2名という結果に終わった。今年度の反省を生かし、継続審議してより良い募集が実施できるようにしたい。 高大接続システム改革会議の内容の分析はかなり進んできた。「大学入学共通テスト」の試行試験も実施され、新しい入学試験の形が見えてきた。新指導要領との関係を見据えて、継続して調査、分析し、より良いカリキュラムの構築を目指していきたい。 教員研修は、全体研修は充実しており、昨年と変わらず達成度70%を維持している。学外研修も昨年同様達成度70%以上を維持している。また、教科内研修も昨年に比べると改善されてきている。今後はより多方面の研修が実施されるように計画したい。 <p>【高校進級規程の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校進級規程、仮進級制度、単位追認方法の改訂も、検討を重ね、なんとか改訂にこぎつけた。高校の進級問題について学内で議論することにより、現在の高校生の抱えている問題が共有できたことは、大きな成果である。この改訂で満足せず、定期的に検討していくべきである。 <p>【教育環境の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業用のプロジェクターを複数台導入し授業に活用した。 特別教室に電子黒板を導入し授業に活用した。 今後も教育環境の改善を図りたい。 <p>【ポストン研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度初めてポストン研修を実施した。高校2年生10名高校3年生3名が参加した。ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学等の研究室を回り、実り多い研修を実施できた。来年以降も継続実施していきたい。 | <p>【第1回（6月2日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業見学の結果は、本年度の目標に沿ってクラス運営がされていることを確認した。 卒業生の大学進学結果は、志望傾向が変化している。生徒の志望を踏まえ、今年度も継続して学習指導してもらいたい。 <p>【第2回（11月29日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒に対するアッシステンツァについては、大いに評価できる。今後も、変わらず継続してほしい。 学内の環境整備について、いくつかの提言がなされた。担当教員の名前と顔がわかるように名札をつけてほしい。 制靴及び制靴について、いくつかの提言がなされた。制靴が重くて扱いにくい。全面的に廃止するか、デザインや丈夫で軽い素材にする等の改良を加えてほしい。制靴が購入後すぐに底面がはがれる等の問題が起こっており、素材や製法に問題があると思われる。」 学校情報の発信について、いくつかの提言がなされた。ホームページの情報更新をもっと頻繁に行ってほしい。学校行事の写真をアップしてほしい。 授業や補習等についての提言がなされた。成績下位の生徒のフォローをもっとしてほしい。 学校行事についていくつか提言がなされた。スクールフェアの際の金券を払い戻してほしい。スクールフェアの収益金をすべて寄付するのは考え直してほしい ポストン研修を続けてほしい。 学校食堂について、価格、品質の向上を検討してほしい。学食の試食会をしてほしい。 携帯電話の学内持込みについて、条件付きで認めてほしい。 <p>【第3回（3月19日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育に関する今年度の目標は、概ね達成されていると判断する。 環境整備については、来年度も継続的に実施してほしい。 「いじめ」のアンケートに基づき、早期発見処置がなされている。来年度も継続的に「いじめ」の防止に努めてほしい。 |